

平成24年2月

川口馨 学位論文審査要旨

主 査 小 川 敏 英
副主査 豊 島 良 太
同 萩 野 浩

主論文

Ultrasonographic evaluation of medial radial displacement of the medial meniscus in knee osteoarthritis

(変形性膝関節症における内側半月側方偏位の超音波評価)

(著者：川口馨、榎田誠、大槻亮二、豊島良太)

平成24年 Arthritis & Rheumatism 64巻 173頁～180頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、膝内側半月の側方偏位 (medial radial displacement: MRD) を荷重と非荷重状態で超音波診断法によって計測し、変形性膝関節症の発症と進行におけるMRDの関与を検討したものである。その結果、正常と変形性膝関節症ともに荷重により内側半月が側方へ偏位すること、MRDは変形性膝関節症の初期に発現し、X線学的変化に進行に先だって程度を増すこと、その程度は男性よりも女性で有意に大きいこと、が示された。以上より、変形性膝関節症の発症と進行に内側半月のMRDが深く関わるということが明らかにされた。本論文の内容は、変形性膝関節症の発症と進行におけるMRDの意義を解明したものであり、明らかに学術の水準を高めたものと認められる。